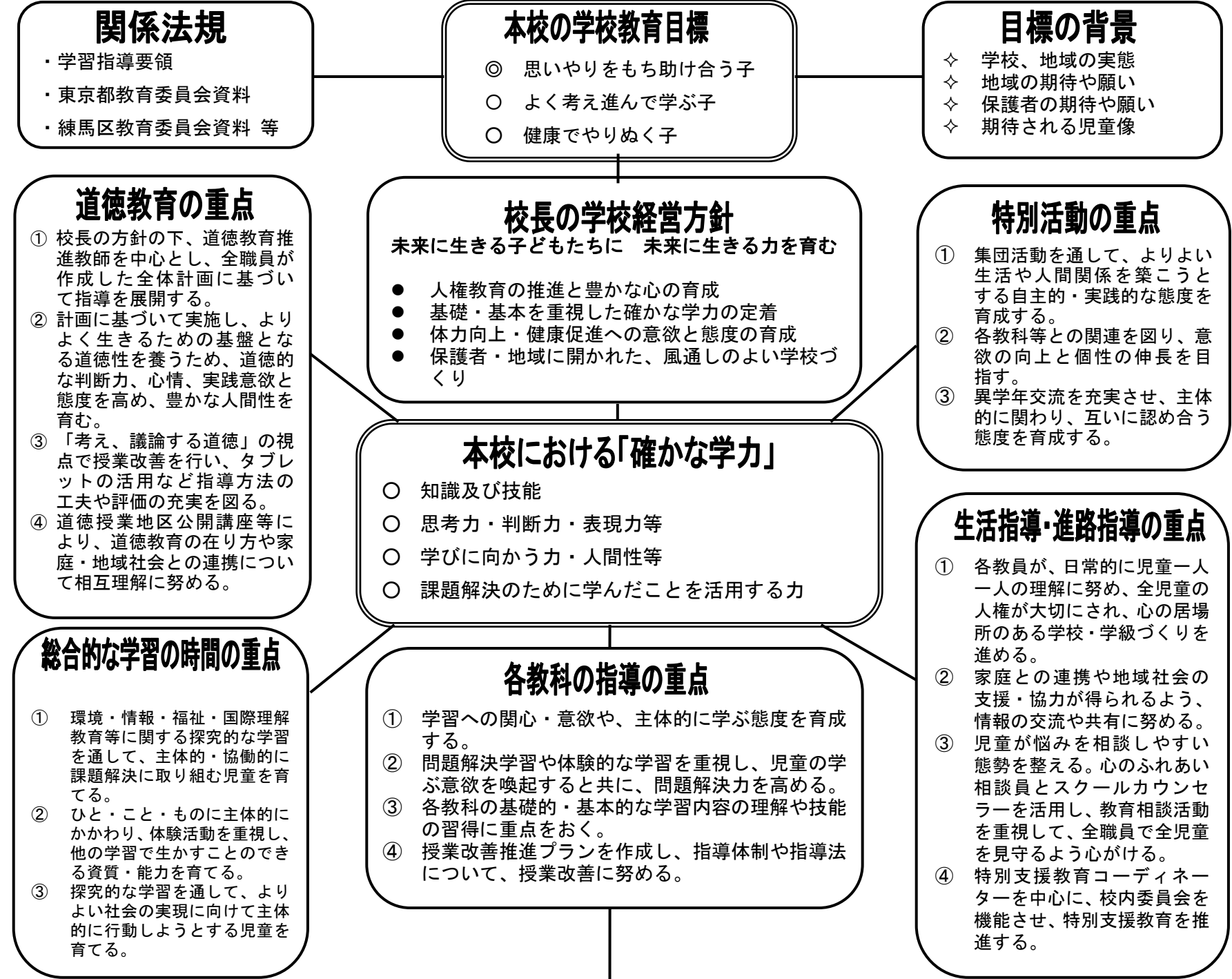




授業改善に向けた視点と主な方策				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○ 体験的な学習・問題解決学習等を重視し、学習への関心・意欲を高める。 ○ 授業改善推進プランや課題改善カリキュラムを活用し、実態に応じた学習を行う。 ○ 習熟度別指導を充実させる。 ○ 授業の工夫を図ることによって、確実に学習内容を習得できるようにする。 ○ 小中一貫や幼保小連携を意識した教育活動を実施する。 ○ 特別支援校内委員会を中心に、スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・学校生活支援員等との連携を図り、支援対象児童の個に応じた指導に当たる。	○ 新学習指導要領に基づいた年間指導計画を立て、計画的に授業を進める。 ○ 水、木、金曜日の朝の時間を15分間のモジュールとして授業時間を確保して、国語科の基礎的・基本的な内容が定着できるようにする。 ○ 金曜日は全校朝読書に取り組み、読書を通して豊かな心を育み、読解力や集中力の向上を図る。 ○ 東京ベシック・ドリルに取り組む時間を確保し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ○ 区立図書館、学校司書を活用した授業や朝読書を行うと共に、読書活動を充実させる。	○ 主題「学びを言語化する児童の育成～読むことを通した振り返り活動の工夫～」について研究し、2学年で1つの研究授業を行い児童の言語活動の充実を図る。 ○ 自己申告に基づく自己研鑽と校長・副校長による面接・授業観察によって、指導力向上を図る。 ○ 若手教員が、他の教員の授業を見られる機会をつくるとともに、生活指導や学習指導等について研修できるようにする。また、全教員が3人一組をつくり、年3回の相互授業観察を行うことで、授業改善に努める。 ○ 特別支援校内委員会やいじめ防止対策委員会を設置し、実態把握や初期対応をできるようにする。 ○ 児童理解を深めるため、年2回生活指導の情報交換や研修会を行う。また、毎週金曜日に、生活指導夕会を行い情報共有する。	○ 「めあて・実践・振り返り」という学習過程を重視し、児童が自己評価・相互評価をできる力を育てる。 ○ 評価計画を立て、指導と評価の一体化を図り、学習内容を定着させる。 ○ 教育活動に対する内部評価・外部評価をアンケート等で行う。 ○ 教育活動に対する評価結果を基に、評価項目に対応する校務分掌の部会が中心となり、教育活動の改善に取り組む。	○ 学校HP・学校だより・学年だより等で、児童の様子や教職員の取組等を発信し、理解や協力が得られるようにする。 ○ 地域の防災訓練に協力し、生活指導・防災教育の充実を図る。 ○ 学校運営協議会を活用し、地域組織との接点を広げる。 ○ 保護者会・個人面談等を活用し、保護者や地域の声を真摯に受け止め、応える努力をする。 ○ 自分たちとは違う環境にある方々の生活について理解し、思いやりの心を育てる。

授業改善策の検証方法

○ 学校評価

○ 外部評価

○ 児童へのアンケート

○ 校内研究授業の研究協議会

○ 各教科、各学年のテスト等による評価